

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

高等学校卒業式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

<http://www.ka.shibaura-it.ac.jp>

〒277-0033 千葉県柏市増尾 700 番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和 6 年 3 月 2 日

印刷所 株式会社横浜総合写真

さらなる探究の旅へ

— 42 期卒業 —

2023 年度芝浦工業大学柏高等学校卒業式告辞

校 長 中根 正義

学び続けることの先を見据え……

春の足音が高まる佳き日、第 42 期、278 名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。保護者の皆様に心よりお祝い申し上げます。本校での学びが、お子さまの成長に役立てたなら、私たち教職員の喜びもひとしおです。

さて、生徒の皆さんの高校生活は新型コロナウイルスの感染拡大と共にありました。各種行事はことごとく中止。私が校長に就任した一昨年 4 月、最初に決断したことの一つは、皆さんの北海道研修旅行の可否でした。

多くの先生方から「生徒の思い出になるような行事をさせてあげたい」との熱い思いを聞き、私も皆さんと一緒に北海道に行きました。宿泊地のニセコ町では、私の知り合いが町長をしていたご縁で、「まちづくりについて、ぜひ講演をしてほしい」とお願いしました。講演後の質問タイムには皆さんから次々と手が挙がり、「社会人や大学生に話をする人が多いが、こんなに質問が出たことはない。素晴らしい生徒さんたちですね」と、町長が目を丸くしていたことに、私は鼻高々な気分になりました。

函館市での夜景ツアーでは、霧がかかっていた函館山山頂が、私たちの到着と同時に視界が開けました。ロマンチックな景色を堪能しながら、皆さんと一緒に記念写真を撮ったことは、とても楽しい思い出になっています。

また、コロナ禍を乗り越え、多くの皆さんが活躍する姿に、いつも胸が熱くなりました。団体競技で本校で初めて、水泳部が水球競技でインターハイに出場しました。ラグビー部は春の県大会でベスト 4。本校が注力している探究学習では、高校生国際シンポジウムでグランプリや最優秀賞に輝くなど、その活躍は同級生や下級生たちの見本になっただけでなく、コロナ禍で試行錯誤を続けてきた我々教員の励みにもなっています。

現在、国内外では課題が噴出してしています。そうした中で「人生 100 年時代」ということが言われるようになりました。皆さんの多くは 100 歳まで生きると予想されているのです。

私は今年、61 歳になりました。100 歳まで生きるであろう皆さんから見た時、私の年齢は折り返し地点でしかありません。近年、リカレント教育の重要性が叫ばれています。生涯にわたり学び続けること、自ら社会課題に立ち向かい、進んで解決していく姿勢が求められているのです。そこで、皆さんに次のような言葉を贈りたいと思います。

少而学 則壯而有為

壯而学 則老而不衰

老而学 則死而不朽

これは、江戸時代の儒学者、佐藤一斎によるものです。「少年の頃にしっかり学んでおけば、社会人になってから重要な仕事をすることができる。大人になってからも学び続けられ、年老いても、その力が衰えることはない。老年になってからも学び続けられ、亡くなった後も社会への貢献は次代の人々に引き継がれていくだろう」という意味になります。一斎は、謙虚に学び続けることで自分を高め、その過程で培った力で、人のため、社会のために生涯にわたり役立ち続けていくことの大切さを訴えました。

実は、一斎の弟子や孫弟子には佐久間象山や勝海舟、吉田松陰、坂本龍馬、高杉晋作、西郷隆盛、木戸孝允、伊藤博文らがいます。明治維新を支えた人物たちに慕われただけでなく、彼の死後約 170 年たった現代においても、多くの日本人に影響を与え続け、「老いて学べば、すなわち死して朽ちず」を実践した人と言えるのではないでしょうか。

結びとなりますが、皆さんが創造性を発揮され、自分の可能性を追い求め、生涯にわたり学び続けながら社会で活躍することを期待し、告辞いたします。

目 次

校長告辞 / 式次第	1 P
受賞の喜び	2 P
巣立ちゆく者たちから	3 P
巣立ちゆく者たちから / 保護者から ／ 贈る言葉	4 P
贈る言葉	5 P

一、開式の辞	一、校長告辞
一、校歌斉唱	一、学校法人代表祝辞
一、閉式の辞	一、答辞
	一、記念品贈呈
	一、卒業生保護者代表 謝辞
	一、卒業証書授与
	一、賞状・賞品授与



受賞の喜び

創立者有元史郎記念賞 <i>Pisum sativum</i>
3組

この度は名誉ある賞を頂き誠に光栄に思います。親身にご指導して下さいました先生方、切磋琢磨しあった同級生（と *Pisum sativum*）、何かと気にかけて下さった先輩方、そして何より傍で支えてくれた両親の存在があってこそだと考えております。

私の高校生活を振り返る際、*Pisum sativum* を欠くことはできません。*Pisum sativum* に合わせるため、勉強が習慣化し、起り得る事態を予測した日程調整をするようになりました。*Pisum sativum* をきっかけとし、様々な人間関係も構築できました。改めて熱中できるものがあることが如何に幸福であるかを感じました。

6年間大変お世話になりました。この度は本当に有難うございました。

千葉県知事賞 桜花爛漫
3組

この度はこのような素晴らしい賞を高校生活の最後という節目にいただくことができ光栄に思います。今の自分があるのは家族、先生方、そして多くの友人のおかげであると考えています。私は高校三年間を個性豊かな友人に恵まれた環境の中で過ごせたことを幸運に思っています。入学当初は中入生の雰囲気や圧倒されていたものの、段々とこの環境の中で過ごしていくうちに、朱に交われば赤くなるとも言るように段々と慣れて高校生活を楽しむことができました。むしろそんな個性の強い友人と関わるうちに、私自身も「自分らしさ」を出していくことが多くなりました。慣れてって怖いです。

千葉県私立中学高等学校協会賞 自分の核を守ること
1組

“Let'em laugh while they can, let'em spin, let'em scatter in the wind.”

私の好きな曲の一節です。なにか行動を起こす上で周囲の目が気になってしまうのは必至で、私たちはなかなか自分の行動に自信を持つことはできません。ただ、それが故に自分自身が心からやりたいと思っていることを躊躇してしまうのは何とも悔しいことだと私は思います。笑われても自分の信念だけには嘘をつかず、真っ直ぐでありたいと思い続けた3年間でした。ただ振り返ると、そのように生きてこられたのも多くの人に支えて頂いたからこそです。光陰矢の如し。あっという間の6年間、大変お世話になりました。

巣立ちゆく者たちから

芝柏での経験	1組
--------	----

私は中学と高校の合わせて6年間をこの芝柏で過ごしてきました。この6年間は私にとってかけがえのない、充実したものになりました。充実した6年間を過ごすことができたのは勉強や学校行事、そして部活動など様々なことに取り組んだからだと思います。これらの6年間の学校生活は自分一人ではなく、友人や先生方のおかげで成り立ってきたものだと感じています。コロナウイルスの影響によって、これまで想像していた学校生活とは異なり、多くの制限の中で学校行事などを行わなければならなかったこともありましたが、そんな誰にも想像出来なかった状況でこそ、お互いが助け合うことの大切さ、一丸となって取り組むことの素晴らしさをより感じる事が出来たと思います。この経験は必ず私達の人生の糧となると思います。最後に、毎日支えてくれた家族や先生方のおかげで、楽しい6年間を過ごすことが出来ました。本当にありがとうございました。

思い出と成長の三年間	4組
------------	----

この三年間の高校生活は、僕たちにとって多くの思い出と成長の機会が詰まった貴重な時間でした。初めての登校日から、新しい友達との出会いや先生との学び、そして様々な学校行事や課外学習まで、数えきれないほどの貴重な経験を積み重ねてきました。授業での学びや試験の日々はもちろん、文化祭や球技祭などの学校行事では、クラスメートとの協力や助け合い、団結力を発揮することができました。また、部活動では仲間との熱い戦いや励まし合いが、僕たちの絆をより深めました。こうして三年間の高校生活を振り返ると、楽しかったことやつらかったことが自分を大きく成長させてくれたことに気が付きます。そして今こうして新たな人生のスタートラインに立っています。この三年間の貴重な経験を胸にそれぞれの未来に向かっていければと思います。またどこかで会えることを楽しみにしています。三年間ありがとうございました。

柏熱の6年 [∞]	2組
--------------------	----

入学した頃は片田舎臭いと思っていた柏の青春が、今は大好きになりました。仲間なしには戦えない、中学サッカーと高校ラグビーに、柏の青春を懸けた6年間。負けて最後、隣で一緒に泣く仲間がいることに、悔しさよりも大きな感情が込み上げてきました。昼ご飯も、遊びも、馬鹿なことも、当然のように一緒にしてくれる仲間達は、誰にも代えられない、死ぬまで大切にしたい宝物です。修学旅行や球技大会なども、クラスメイトと全力で楽しみました。満杯の思い出をくれた人達と出会えたことが、芝柏最高と思う何よりの理由です。この6年の日々が、これからもずっと自分達を繋いでくれたらいいなと願っています。

色々な方々の支えで卒業を迎えられたこと、本当にありがとうございます。もう二度と戻らない、物凄く大切な6年間の思い出を抱えて、あと何十年もはしゃいでいようと思います。終わらないぞ柏の青春！

卒業	5組
----	----

3年5組はとても騒がしいクラスでした。席替えではいつも阿鼻叫喚し、クラスでビンゴをした際にも大盛り上がりしていたことは今でも記憶に新しいです。一方で、真剣な場面では落ち着いて話を聞き、行動できるような年相応な一面も併せ持っており、優秀なクラスだということをこの1年間を通して感じました。3年生は受験を控えているということもあり、1年生や2年生と比べてクラスでの交流は少ない1年間だったと思いますが、楽しい1年間だったと思います。3年5組だけでなく学年全体を通して、真面目で明るい学年だったと思います。僕はクラス会長として至らぬ点も多かったですがその度に副会長や書記を中心としたクラスの皆、先生方の力を借りてきました。それに僕だけでなく多くの人が先生方にお世話になったと思います。教職員みなさん、今まで本当にありがとうございました。

困難を好機に一中等教育修了に寄せて	3組
-------------------	----

“24年は政治的にはヴォルデモートの年”あらゆる潜在的危機を押さえつけていた微妙なバランスはもはや一刻の猶予も待ちません。他方、レールの敷き場所すら自ら探さなくてはならない個人主義の不安の暗影に我々は新たな門出を祝われます。こうした不確実な時代に我々はどうあるべきか路頭に迷うでしょう。人間が生み出してきた構造（技術,社会…）に自身が翻弄される皮肉に飲み込まれずに生き抜くには“知を構造化”し生成する努力が不可欠です。つまり、過去の自己を統合して現在の自分を生成し、文化芸術によって生を喜び、多様な文章を通して他者と交流・自己を拡張し、日本人としての歴史的責任・固有性を理解し、他者の言語と苦楽の歴史への尊重を以て異文化の潜戸を叩き、数理を駆使して現代社会の構造を捉え技術の発展を支える。こうした努力を続ける地平に”困難の中に好機を見出“し今を生き抜く光が見えるのかもしれませんが。

あっという間の高校生活	6組
-------------	----

受験勉強の合間にこれを書いていますが、私はこの芝柏での3年間があったという間だったように感じています。当たり前のようにだった高校生活もあったという間に終わり、卒業が目前になってくると、様々な思い出が蘇ってきます。

コロナ禍の影響を中学で受けたため、高校ではどうなるか不安でしたが、制限のある中でも充実した高校生活を送ることができました。

コロナ禍が明け、日常が戻りつつある中で、球技祭や修学旅行、文化祭といった行事を楽しむことができました。そういった行事や普段生活の中で多くのことを教えてくれた先生方には感謝でいっぱいです。

これまで過ごしてきた芝柏に別れを告げ、将来に夢を持って私達はそれぞれの道を進んでいきます。

芝柏で学んできたこと、経験したことは思い出としていつまでも私の中に残っています。



巣立ちゆく者たちから

高校生活を終えて
7 組

私たちを応援してくれた家族、学問の奥深さを教えてくださった先生方、共に学び、多くの時間を共有した友人、そして私たちに学びの場を与えてくださった全ての方々に、感謝致します。今日まで本当にありがとうございました。

振り返ってみると、高校3年間はあっという間に過ぎていきました。コロナ禍で不安を抱えながら高校生活がスタートし、行事の中止やオンライン授業など、普段とは異なる学校生活を送ることにやり場のない悔しさを感じることもありました。しかし私は、探究活動や先生方の進路指導により、自分が将来やりたいこと、目標を見つけることができました。困難な状況でも、考えながら行動し、努力し続けた私たちは、これから社会に出ていく中で必要となる力を身につけたと思います。

3年間ありがとうございました。進学先でも、より良い未来を切り拓く社会の一員になれるよう、更なる努力を重ねていきます。

保護者から

御礼の言葉
第 42 期卒業生保護者代表

「創造性の開発」と「個性の発揮」これは芝浦工業大学柏中学高等学校の建学の精神です。子供たちはこの学園生活の中で、先生方の指導の下、それぞれの個性を伸ばしていったことと思います。一人の人間として個性を発揮するためには、その素地となるものが重要です。そうしたものを子供たちは確実に身に付けていると信じます。

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。この3年間はコロナウイルスが猖獗を極める中、行事が中止になるなど、学校生活も大きな影響を受けました。そのような中でも、皆さんは、ウェブを活用した増穂祭等、社会情勢に応じて柔軟な対応をとることができたことは、今後の人生においてもよい指針になったのではないかと思います。

この学校は皆さんの母校、つまり心の故郷です。ここからの人生で何か困難に直面した時、ふと振り返ることのできる場所です。私自身も自分の母校より今やこの学校に愛着がわいているくらいです。先生方、これからもこの子たちの故郷を大切に守ってください。

最後になりますが、芝浦工業大学柏中学高等学校の益々のご発展と皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

贈る言葉

教頭

今年パリオリンピックが開催されます。この最高峰の闘いを観戦する時、なぜ人々は感動するのでしょうか。それは選手たちが何の保証も後ろ盾も無い中、自分ひとりの力で、これまで築き上げてきたものを背景として、全力で舞台に立つ姿が見られるからでしょう。みなさんはこれから自身の夢や目標に向けて、自分の力だけで挑戦しなければいけない場面に多々遭遇するでしょう。その際にはそれまでの自分の努力を信じその場面で対峙してほしいと思います。信じるのが自信となり、また次へと歩みを進めることができると思います。

ご卒業おめでとうございます。

学年主任	6 組副担任
------	--------

卒業おめでとうございます。この3年間、互いを支え合い、高め合っていく中で、皆さんの真摯な姿勢、努力する姿、そしてたくさんの優しさに触れてきました。皆さんの存在は、私にとって誇りであり、尊敬の対象です。芝柏と皆さんの出会いがひとつの縁だったように、これからの人生にもたくさんの縁があります。若いうちにたくさん心を動かしながら考え、行動して、その時にしかできない経験をたくさん積んでください。それが、未来の自分への蓄えになるはずです。

1 組担任

いつでも人には優しくしましょう。周りの人を悪く言って、自分をあげるようなことをしてはいけません。自分のことばかり求めて、相手を考えないのもいけません。いっぱい勉強して、楽しいことがどんどん増えてくると、それだけ人を助けることができるようになるものです。嫌な気持ちになることも、これからきっといっぱいあるだろうけど、人に優しくしてあげられるだけの、大きくて強い器がきっとみんなにはあります。器を育てて、器を磨いて、優しい人でありつづけましょう。今までありがとう。これから頑張ってね。卒業おめでとう。

2 組担任

卒業おめでとうございます。時代が変わると、あなた自身も変わるし、価値観も変わります。変わったことを忘れて、自分だけは変わらず正しいと信じる人が世の中には多いと思います。この学校で学んだことに対する評価や思いもきっと変わってきます。でも、変わるのは、自分や社会です。同じ時に同じ場所に本当は変わらない時間がありました。その同じ時間が変わり続けるあなたを作るのです。変わることを恐れず、変わったことを忘れず、変わり続け、そしてそういう自分を反省し続ける日々を過ごしてください。健闘を祈ります。

3 組担任

【これからも良き旅を】
物理学者・湯川秀樹先生の著書の一節に、次の言葉があります。

「未知の世界を探求する人々は、地図を持たない旅行者である。」

振り返れば、皆さんにとって、日々を生きたことそのものが探求であり、探究だったように思います。未知のコロナの時代を駆け抜けた、皆さんとの時間は、今まで以上に人の繋がりを強く感じるものとなりました。湯川先生は言葉をこう結ばれます。「地図は探求の結果として、できるのである。」

次世代の日本・世界を創造する皆さんのご活躍を、そして描かれる地図を、「かめたん」と共に首を長くして見守っています。ご卒業おめでとう！

4 組担任

一つで良いので、究めてください。

新発見や偉業を成し遂げろと強制している訳ではありません。自分が心から楽しいと思えることをとことん掘り下げてください。高等学校での学びは教養科目が多く、内容も薄いです。学問の面白さや奥深さまで到達しなかったことも多くあったのではないのでしょうか。

少なくとも私はそう思います。

是非、これからは思う存分学んでください。偉そうに言う私もまだまだ究められていません。みなさんが、究められた時またお会いできることを心より楽しみにしています。卒業おめでとう。

5 組担任

42 期の皆さん、卒業おめでとうございます。長いと思っていた6年間は、存外あっという間でした。松尾芭蕉の俳諧理念として「新しきは俳諧の花」という言葉があります。どんどん新しいことにチャレンジすること、そこに価値があるという意味です。中学・高校そして大学へ、挑戦を続けた皆さんを見てみると、この理念は成長過程の学生にも当てはまるなとしみじみ感じます。皆さんも次々と訪れる変化を恐れず、チャレンジし続けてください。そして、その過程を楽しめる人になってください。そこにはかけがえのない価値があるはずです。

6 組担任

【伊藤の独り言】

42 期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。毎週月曜日にどんなくだらないことをつぶやこうか考えながら過ごした3年間はとても楽しかったです。さて、これが最後の独り言となるわけですが、何をつぶやけばいいのでしょうか。本日（3 / 2）は一粒万倍日という、この日に物事を始めたり、やり遂げたりすると、その成果が大きくなって返ってくる日です。高校生活で得たものが、実を結び大きな財産となりますように願っています。ということで、次のステージでも『ばにゃにゃんだー』！※『ばにゃにゃんだー』の意味は学年のクラスルーム 2022 年 9 月 5 日投稿の朝の連絡をご参照ください。

7 組担任

卒業おめでとうございます。芝柏の門を出てそれぞれの道を切り拓き 世界で活躍していくことと思います。少し立ち止まりたくなったら、いつでも芝柏の門をくぐってくださいね。待っています。

『明日が来る』
どんなにつらい1日も 今日は今日で終わり
また明日が来る
どんな日も どんな日も 愛しき我が人生の日々
冷たく月冴える大地 踏みしめ踏みしめ歩く
私を 今 照らしている
幾光年彼方からの星々の光
悠久の時はめぐって 深々と二月の夜が更ける
どんな日も どんな日も
愛しき わが人生の日々
今日は今日で終わり また明日が来る

贈る言葉

1・3 組副担任

ご卒業おめでとうございます。それぞれ新しい環境で目標を見失わず、やりたいことをとことん究めてください。生活の自由度も増すと思いますが、その分責任も伴います。自分を律することも忘れないでください。社会とのつながりを意識しながら、消費行動ばかりに時間を費やすではなく、生産的な行動にも力を注いでください。誰かの役に立つ行動ならどんな小さな行動でも良いと思います。今後の活躍を期待しています。

2・7 組副担任

42 期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。何事にも前向きに取り組むみなさんと過ごした日々は本当に貴重で、楽しくて、全部が私にとって大切な思い出です。

これからの人生、たくさんの思いもよらないことが起きるでしょう。そうした変化を恐れず、楽しむ心を持ち続けてください。何事も挑戦です。芝柏での学びと経験がみなさんの背中を押してくれます。みなさんのこれからの、たくさんの幸せがありますように。

4 組副担任

42 期生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。これまでみなさんを支えてくださった全ての方々への感謝の気持ちを忘れず、高校卒業という大きな区切りを迎えた慶びを噛みしめてください。これまでの出会い、そしてこれからの出会いを大切にし、たくさんのことを学び、変化を恐れることなく自分の世界を広げていってください。いつか素敵な大人に成長したみなさんと再会できることを楽しみにしています。

5 組副担任

42 期の皆さん、卒業おめでとうございます。受験勉強という振り分けゲームの中にいると、ともすれば、狭視野になります。教科書を探し、時に自分で作って、周囲―日本、地球、世界がどうなっているか、アンテナをはり、ラディカルにものをみましょう。時に、軌道修正しながら。優れた先人達の、古典と呼ばれる知的遺産を繙き、世界という書物を読解していきましょう。私も、君達と同じく、しばかしを卒業しますが、構えは書生です。共に学んでいこう！ なんちって。Adieu.

1 年次担任

ご卒業おめでとうございます。42 期の高校1 年生が私にとって初めての担任でした。2 年生以降は課題研究と生物の授業でしか関わられませんでした。廊下ですれちがうたびに明るく話しかけてくれるのがとても嬉しかったです。

頼りない担任だったかもしれませんが、皆さんとともに過ごし、学んだ1 年間は忘れません。これからの長い人生の中でふとした時に、そういえば生き物好きな変な先生がいたなと思い出してください。

1・2 年次副担任

ご卒業おめでとうございます。換気や密回避の確認で教室を回ると、気前のよい男子が笑顔で私にスマホを差し出してくれる…。そんな暖かな昼休みの攻防が懐かしく思い出されます。たくさんの楽しい思い出をありがとうございました。希望に燃える一方で不安もあろうかと思いますが、芝柏で育った自分自身にプライドを持ちつつ、恐れずに自己変容していく勇氣とともに進んでください。応援しています。

1 年次副担任

42 期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私も定年になり同じく卒業です。人生には節々があり、皆さんも大きな節目ですね、学習の基礎を築きさらなる学びのステージを上げ、活躍することでしょう。皆さんの今後の努力は未来に向けて、希望に満ちた輝かしいものとなり、社会的にも重要な人材になって行くと感じています。今後の体験すべてが将来大切な思い出にもなります。豊かな人生になる様、期待しています。頑張ってください。

1 年次副担任

卒業おめでとうございます。クラス、授業、部活、行事など皆さんの場面でご一緒できたことに感謝しています。新型コロナウイルス感染症の影響で色々な制約がある中、授業はもちろん部活や行事にまい進する姿を見て、とても頼もしく感じていました。特に高2 冬に行われた学年合唱祭では演奏者と観客と一緒に楽しむことができ、素敵な思い出になりましたね。これからも「毎日が喜び」となるようお祈り申し上げます。